

市長定例記者会見資料



令和3年1月22日	
所 属	福祉課
所属長	高橋 健二
電 話	06-6489-6348

地域とともに高齢者等の避難行動要支援者の見守り等を推進します！ ～災害時に地域全体で支え合う仕組みづくり～

阪神・淡路大震災などの大規模な災害の教訓から、地域住民による日頃の見守りが避難行動要支援者への声掛けや避難支援、安否確認などの支援につながる事が明らかとなっています。

本市では、地域で支え合い助け合う「共助」による要支援者避難支援体制づくりを目的として、日頃から地域住民による要支援者の見守りや災害を想定した声掛け訓練等を行っていただけるよう、避難行動要支援者の名簿情報の地域への提供を進めています。

こうした取り組みをさらに進めるために、令和3年2月に要支援者や避難場所等の情報を一元管理し、地図上で位置情報の可視化が行えるシステムを導入し、必要に応じて見守り等を行う支援関係者に要支援者等の最新情報を随時提供するとともに、自主防災会や福祉専門職等の方々の協力を得て、災害時に特に避難支援を必要とする要支援者の「個別支援計画」の試行的な作成を進めるなど、要支援者を地域全体で支え合う仕組みづくりを進めます。

1 見守りの対象となる避難行動要支援者

避難行動要支援者のうち、支援関係者へ名簿情報の提供に同意した方。

<避難行動要支援者の範囲>

- ①介護保険制度の要介護認定者（要介護3以上）
- ②身体障害者手帳を所持する者（1、2級）
- ③療育手帳を所持する者（療育手帳A）
- ④精神障害者保健福祉手帳を所持する者（1級）
- ⑤難病患者（特定医療費(指定難病)受給者等）
- ⑥65歳以上のみ世帯（一人暮らし・夫婦等）
- ⑦上記以外で特に配慮を要する者

※ 令和2年4月1日時点の避難行動要支援者 105,780人、うち同意者 44,559人

2 本システムを活用した避難行動要支援者名簿情報の提供

住民基本台帳情報や介護保険情報、障害者手帳情報等とのオンライン連携による日々の情報更新を行うシステム（※）を本庁や各地域振興センター、南部・北部保健福祉センター、保健所の10施設に配備します。

これにより、

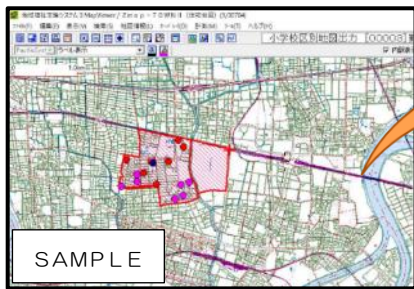
- ① 平常時には地域に見守り活動や避難訓練等に活用するための最新の名簿情報の提供、
- ② 災害時には、避難支援関係者に、避難行動要支援者全員の名簿情報に加え、地図情報等の提供を可能とすることで迅速な安否確認や生活支援につなげることなどを想定しています。

※ 電源があればオフラインでも直近の情報をもとに稼働

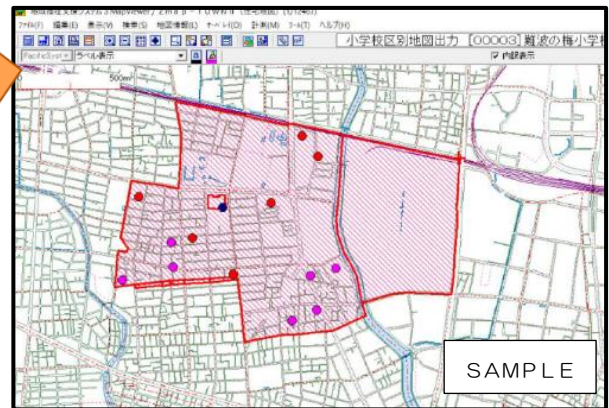
<避難行動要支援者名簿イメージ>

○○地区 ○○○社会福祉連絡協議会		令和2年度 尼崎市 避難行動要支援者名簿							令和2年4月1日時点	
区分	ヨカナ	住所	年齢	生年月日	携帯電話番号	身障	身障部位1	精神障害	難病	高齢世帯
連番	氏名	方書	性別	電話番号	ファックス番号	療育	身障部位2	要介護度	妊産・乳幼	整理番号
継続	アマガサキ タロウ	尼崎市東七松町1丁目 ●●-●●	100	1920.04.01			1級	視覚		
1	尼崎 太郎	▲▲マンション301号室	男	06XXXXXXXX				要介護4		
継続	アマガサキ ハナコ	尼崎市東七松町1丁目 ●●-●●	90	1929.11.11	090XXXXXXXX		2級	聴覚		高齢のみ
2	尼崎 花子		女	06XXXXXXXX	06XXXXXXXX					
継続	アマガサキ シロウ	尼崎市東七松町1丁目 ●●-●●	90	1929.05.01				1級		高齢のみ
3	尼崎 次郎		男	06XXXXXXXX	06XXXXXXXX			要介護3		
新規	アマガサキ サブロー	尼崎市東七松町2丁目 ●●-●●	65	1955.04.01	090XXXXXXXX					高齢独居
15	尼崎 三郎		男							

<要支援者の地図上での可視化イメージ>



特定の地域内の要支援者の位置情報を市内全域や詳細な地図で表示し、見守り活動や避難訓練、避難支援等に活用していきます



copyright(C)2020 ZENRIN CO.,LTD. (LA20003726)

3 地域と連携した個別支援計画作成モデル事業

災害時の避難計画である個別支援計画を今年度モデル的に作成するため、現在は4自主防災会（社会福祉連絡協議会）をはじめとする計5地区と協議を進めています。

対象者は、支援関係者への名簿情報の提供に同意した避難行動要支援者のうち、ただちに避難支援を必要としないと考えられる高齢者世帯要件のみの者を除く 19,284人（R2.4.1時点）で、本システム上で浸水想定区域に独居の要介護度の高い高齢者や重度障害者など災害リスクの高い人を把握し、自主防災会やケアマネジャー等の福祉専門職などの支援関係者と協議して選定していきます。

同計画には、避難行動要支援者の氏名、住所等の基本的な項目のほか、避難場所や避難経路、避難支援時の配慮事項など、避難支援に必要な項目について、避難行動要支援者本人やその家族、支援関係者と協議して掲載します。



<要件別の避難行動要支援者数の一覧表(令和2年4月1日時点)>

		総数	内訳(重複あり)						
			要介護認定者	身体障害者手帳所持者	療育手帳所持者	精神障害者保健福祉手帳所持者	難病患者	高齢者世帯の者	高齢者世帯要件のみの者
避難行動要支援者	人	105,780	26,069	16,389	1,713	1,374	4,029	96,722	67,194
	割合	100.0%	24.6%	15.5%	1.6%	1.3%	3.8%	91.4%	63.5%
同意者	人	44,559	14,131	8,338	856	469	1,332	41,313	25,275
	割合	100.0%	31.7%	18.7%	1.9%	1.1%	3.0%	92.7%	56.7%

※ 高齢者世帯要件のみの者を除く避難行動要支援者(同意者) 19,284人 (=44,559-25,275)

4 本システムの活用イメージ

避難行動要支援者の個人台帳の画面から、個別支援計画の様式に合わせて必要な情報を落とし込んだり、住所をマッピングし避難場所等の位置情報を把握したりするなど、本システムを活用した避難支援体制づくりを行います。

避難行動要支援者のための個別支援計画 (マイプラン)	
<p>氏名 長崎 一雄</p> <p>性別 男</p> <p>年齢 75歳</p> <p>住所 長崎県佐世市下川通5-18-1</p> <p>電話番号 095-XXX-XXXX</p> <p>FAX 095-XXX-XXXX</p> <p>E-mail 10110_hq@hqbtc.com</p>	<p>避難場所</p> <p>避難場所の住所</p> <p>避難場所の名称</p> <p>避難場所の住所</p> <p>避難場所の名称</p> <p>避難場所の住所</p> <p>避難場所の名称</p>
<p>避難経路</p> <p>避難経路の住所</p> <p>避難経路の名称</p> <p>避難経路の住所</p> <p>避難経路の名称</p> <p>避難経路の住所</p> <p>避難経路の名称</p>	<p>避難経路</p> <p>避難経路の住所</p> <p>避難経路の名称</p> <p>避難経路の住所</p> <p>避難経路の名称</p> <p>避難経路の住所</p> <p>避難経路の名称</p>

個別支援計画の様式例



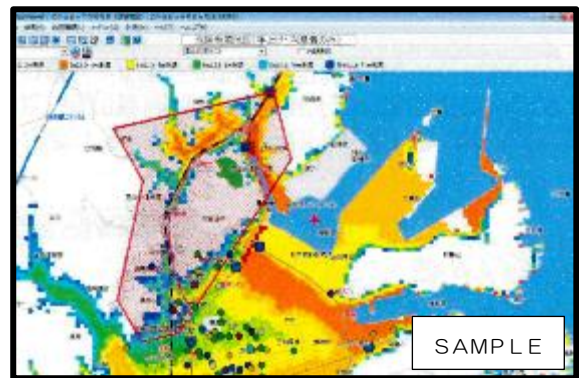
個人台帳の画面イメージ

活用例ポイント1



地図上で指定したエリアで、避難行動要支援者や支援関係者、避難場所等の位置情報を表示することで、本人や支援関係者等が協力して避難経路等を掲載する個別支援計画の作成支援に活用します

活用例ポイント2



被害が想定される地域の避難行動要支援者を地図上で抽出し、地域による平常時の声かけや見守り活動、避難訓練への活用とともに、災害時には迅速な安否確認につなげていきます

copyright(C)2020 ZENRIN CO.,LTD. (LA20003726)

以上